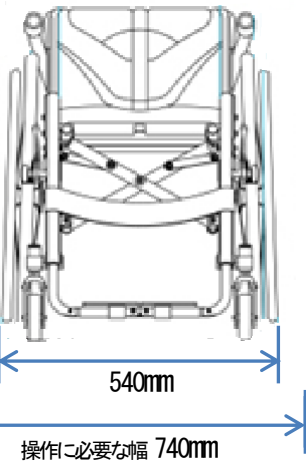
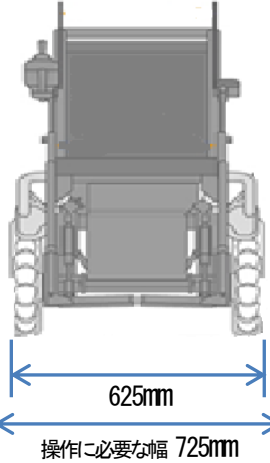
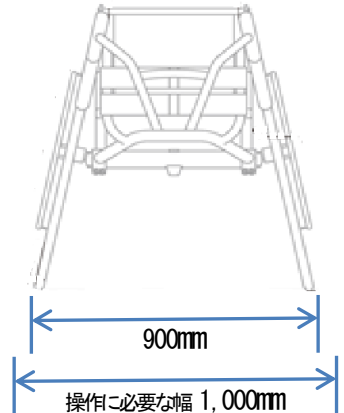
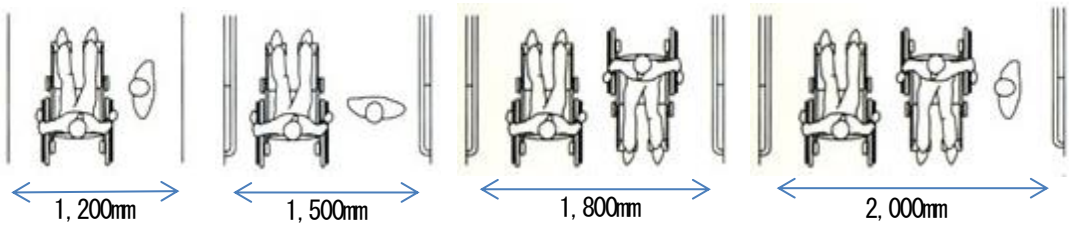


(参考)暫定基準の具体例

項目	数値基準／数値以外の基準		
会場・公共交通の 出入口のドア幅	推奨基準：950mm 標準基準：大会会場は850mm 公共交通施設は900mm その他：公共交通施設では800mm ※競技用車いすを利用する選手動線は1,000mm以上		
	手動車いす	電動車いす	競技用車いす
	  540mm 操作に必要な幅 740mm	  625mm 操作に必要な幅 725mm	  900mm 操作に必要な幅 1,000mm
競技会場の アクセシブルな 座席比率	標準基準：オリンピック大会会場は0.75% パラリンピック大会会場は1.0%～1.2% 同伴者席は同比率で横に設置 ※アクセシブルな座席は複数の位置から座席の選択が可能となるよう分散して配置することが望ましい。		
サイトライン (可視線)の確保	車いす使用者がアクセシブルな座席と前席の床の高さの差は、前席の観客が立ち上がった際にも観覧が可能となるよう、舞台やスクリーン、競技スペース等へのサイトライン（可視線）を確保したものとする。		

項目	数値基準／数値以外の基準		
会場・公共交通の 通路幅	推奨基準：不特定多数の歩行者が極めて多い通路は2,000mm以上 選手村・公共交通機関は1,800mm以上 標準基準：不特定多数の歩行者が極めて多い通路は1,800mm以上、 選手村・公共交通施設は1,500mm以上 その他：1,200mm以上 ※歩道は、歩行者の多い場合3,500mm以上、標準基準2,000mm以上、国内基準1,500mm以上。ただし、地形の状況、その他の特別な理由によりやむを得ない場合は当該区間を1,000mmまで縮小可能		
	 1,200mm 車いす使用者と横向きの人がすれ違える幅 1,500mm 車いす使用者と人がすれ違える幅 1,800mm 車いす使用者同士がすれ違える幅 2,000mm 車いす使用者同士人が、よりすれ違える幅		
会場・ルート のエレベーターの かごの大きさ	推奨基準：幅2,100mm×奥行1,500mm又は同等水準のサイズ 標準基準：幅1,700mm×奥行1,500mm又は同等水準のサイズ その他：幅1,400mm×奥行1,350mm ※鉄道駅等は、同一ホーム等に複数台設置することにより全体容量で推奨基準を達成する場合も、当該基準を満たすものとする。		
	<目安>	手動車いす (幅540mm×長さ850mm)	電動車いす (幅625mm×長さ980mm)
	2,100mm×1,500mm (24人乗り)	4台	3台
	1,700mm×1,500mm (17人乗り)	3台	2台
	1,400mm×1,350mm (11人乗り)	2台	2台